

<投資信託へのアプローチ>

投資信託は高い収益が期待できる一方で元本割れリスクのある商品です。

資産運用のひとつとして、投資信託を選択するに当たっては十分にご納得いただいたうえでご購入いただけるように投資の目的などお客様のニーズをお伺いします。

下記をポイントにお選びください。

<資産運用の考え方>

お手持ちの資産を下記の3つの観点から分けて考えます。投資信託は、当面使う予定のない余裕資金でご検討されることをおすすめします。

収益性…当面使うことのない余裕資金

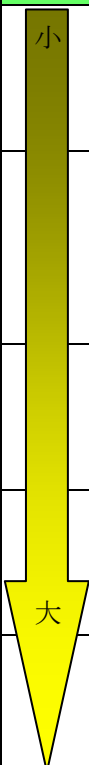
安全性…将来使う予定のある資金

流動性…いつでも引き出せる資金

<投資信託の選び方>

1. 運用目的を確認します。
2. どの金額までリスクが許容できるか検討します。
3. 商品の特徴を理解し、最適なものを選びます。
4. 購入後に定期的なチェックをし、資金計画の見直しを行います。

<投資目的とリスクについて>

リスク	投資目的	対応商品分野
	①収益性が低くてもリスクが小さいことを最優先に考えた運用をしたい。	中期国債ファンド等
	②ある程度のリスクはやむをえないが利子・分配金等による安定的な収入を重視した運用をしたい。	国内の債券に投資するファンド等
	③リスクがあっても定期的な収入や値上がり益を重視した運用をしたい。	外国の債券に投資するファンド、資産分散型ファンド等
	④リスクが大きくても中長期的な値上がり益を重視した運用をしたい。	国内外の株式・リート（不動産投資信託）のファンド、ハイイールド債などの組入れ比率が多い債券のファンド等
	⑤リスクが大きくても短期的な値上がり益を重視した運用をしたい。	特定の国や地域に限定した株式ファンド等

※上記の分類は当金庫による分類です。将来の運用結果等を示すものではありません。

※リスクの大きさは一般的な傾向を示しており、実際の投資とは異なる場合があります。